

2021 年度 主題B「現代社会の諸課題」 リーディングリスト

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード: その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度: 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント (80~100 字程度) / (6) 推薦者の名前 (所属)
- ・※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - ・【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

リーディングリストに掲載されている本は、主に中央図書館2Fの特設コーナー(ゲートを抜けて、突き当りを左折)に配架されています。一部、この場所に配架されていない本もありますので、見つからない場合は図書館HPの蔵書検索で配置場所を確認してください。

- (1) 【新】馬淵浩二(2015年) 『貧困の倫理学』平凡社新書
- (2) 関連する主題: 主題B-1 歴史の中の21世紀
- (3) キーワード: 貧困、格差、倫理学
- (4) 難易度: 
- (5) 功利主義、義務論、ロールズ、ケイパビリティ・アプローチなどの倫理学の立場から貧困を扱うとどうなるかを議論した書物。最終章に貧困で倫理学を扱うことのポスト・モダニズムからの批判ものせている。
- (6) 推薦者: 三宅岳史(教育学部)

- (1) 【新】金森修(2006年) 『病魔という悪の物語』ちくまプリマー新書
- (2) 関連する主題: 主題B-1 歴史の中の21世紀
- (3) キーワード: 感染症、科学史
- (4) 難易度: 
- (5) 今より100年前に、「健康保菌者」という概念がどのように生まれたかという科学哲学・科学史の入門書であるとともに、そこで生まれる社会的問題が描かれている。また現在のコロナで苦しむ社会を歴史的な視野で見ること学ばせてくれる。
- (6) 推薦者: 三宅岳史(教育学部)

- (1) 【新】福岡伸一(2007) 『生物と無生物のあいだ』講談社新書
- (2) 関連する主題: 主題B-1 歴史の中の21世紀
- (3) キーワード: 生物学・分子生物学・生命
- (4) 難易度: 
- (5) 生物と無生物はどのように区別できるのだろうか。本書では、筆者の海外研究生活を顧みながら、生命科学先人達の希望・野心に思いを寄せ、この難問について文学的に解説しています。
- (6) 推薦者: 野村美加(農学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】 斎藤幸平 (2020 年) 『人新世の「資本論」』 集英社新書
- (2) 関連する主題 : 主題 B-1 歴史の中の 21 世紀
- (3) キーワード : 地球温暖化、マルクス、『資本論』、貧困、
- (4) 難易度 : 
- (5) 「地球温暖化が問題だっていうのは知っているけど、現状はどんな感じなんだろう？自分たちには何ができるんだろう？」そんな疑問を持った人におすすめの一冊。著者に賛同できるかどうかは別として、必ず何か考えるきっかけをつかめるはず。環境・経済・政治を関係づけて物事を捉えるものの見方も養えます。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 【新】 マルティン・ハイデガー (2019 年) 『技術とはなんだろうか 三つの講演』 講談社学術文庫
- (2) 関連する主題 : 主題 B-1 歴史の中の 21 世紀
- (3) キーワード : 哲学、科学、技術、原子力、総駆り立て体勢
- (4) 難易度 : 
- (5) 科学技術は、私たちの生活を豊かにしてくれるけど、使い方を間違えると大変なことになる…。そんな風に考えていませんか。でも科学技術自体に、問題が含まれている可能性はないでしょうか。本書所収の講演「技術とは何だろうか？」においてハイデガーは現代の科学技術自身が蔵する問題を明らかにしていきます。言葉遣いが独特で難易度は高いのですが、とことん深堀していく思索は非常に刺激的。科学技術について根本から考えてみたいひとに手に取ってほしい一冊です。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 七木田 敦, ジュディス・ダンカン (2015 年) 「子育て先進国」ニュージーランドの保育—歴史と文化が紡ぐ家族支援と幼児教育 福村出版
- (2) 関連する主題 : 主題 B-2 グローバル社会と異文化理解
- (3) キーワード : ニュージーランド、保育
- (4) 難易度 : 
- (5) ニュージーランドの研究者と日本の研究者が協同して刊行した著作。世界的に注目されているニュージーランドの保育を文化的背景から読み取って紹介している。
- (6) 推薦者 : 松井剛太 (教育学部)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) マーガレット カー, ウェンディ リー (2020 年) 学び手はいかにアイデンティティを構築していくか: 保幼小におけるアセスメント実践「学びの物語」 ひとなる書房
- (2) 関連する主題: 主題 B-2 グローバル社会と異文化理解
- (3) キーワード: ニュージーランド、アセスメント、学び
- (4) 難易度: 
- (5) ニュージーランドのアセスメントであるラーニングストーリーの哲学と実践が示された訳書。保幼小の実践が豊富に掲載されており、日本の教育・保育のあり方を問い直すきっかけになる。
- (6) 推薦者: 松井剛太 (教育学部)

- (1) 『巡礼の歴史と現在—四国遍路と世界の巡礼』岩田書院 (2013)
「西洋人の目を見た四国遍路~大正中期から昭和初期まで~」モートン常慈 pp109-126
- (2) 関連する主題: 主題 B-2 グローバル社会と異文化理解
- (3) キーワード: 四国遍路、外国人、フレデリック・スタール、アルフレッド・ボナー
- (4) 難易度: 
- (5) 約 100 年前に始めての西洋人として四国遍路をした二人の動機、遍路経験や感想について学べる。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)

- (1) 『回遊型巡礼の道・四国遍路を世界遺産に』ブックエンド (2017)
「四国遍路の魅力の世界に伝えた西洋人~オリバー・スタトラーの功績を中心に」
- (2) 関連する主題: 主題 B-2 グローバル社会と異文化理解
- (3) キーワード: 四国遍路、外国人、オリバー・スタトラー
- (4) 難易度: 
- (5) 四国遍路を誰よりも世界に発信した日本研究家のスタトラーの遍路活動や功績について学べる。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)

- (1) 『四国遍路の世界』筑摩書房 (2020) (880 円)
「第 11 講: 四国遍路と外国人」p.193-207
- (2) 関連する主題: 主題 B-2 グローバル社会と異文化理解
- (3) キーワード: 外国人遍路、フレデリック・スタール、アルフレッド・ボナー、オリバー・スタトラー
- (4) 難易度: 
- (5) 外国人と四国遍路の歴史、外国人遍路の実態、今度の課題と最近の傾向等について学べる。
四国遍路に関する多くの課題を分かりやすく書いてあるので、お勧めします。
- (6) 推薦者: モートン常慈 (徳島大学教養教育院)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】D・カーネギー協会【編】/片山陽子【訳】(2012年)『人を動かす2』創元社
- (2) 関連する主題 : 主題B-3 情報とコミュニケーション
- (3) キーワード : コミュニケーション、説得力、感情
- (4) 難易度 : 
- (5) 世界的なベストセラーの『人を動かす』の続編として、現代の状況デジタル環境にあわせて書かれています。感情や非言語も含めた人に動いてもらうためのスキルを学ぶことができます。
- (6) 推薦者 : 山中隆史 (創造工学部)

- (1) 【新】山崎康司 (2011年)『入門 考える技術・書く技術——日本人のロジカルシンキング実践法』ダイヤモンド社
- (2) 関連する主題 : 主題B-3 情報とコミュニケーション
- (3) キーワード : ピラミッドストラクチャー、論理思考、文章の書き方
- (4) 難易度 : 
- (5) ビジネス文書からメールまで人に伝わる文章の記載方法について、ピラミッドストラクチャーを紹介しながらわかりやすく記載されており、考え方や書き方の論理思考の基本が学べます。
- (6) 推薦者 : 山中隆史 (創造工学部)

- (1) 『大学論を組み替える』
- (2) 関連する主題 : 主題B-3 情報とコミュニケーション
- (3) キーワード : 大学教育改革の是非
- (4) 難易度 : 
- (5) 「大学教育を考える」の授業では、文部科学省が進めている教育改革の取り組みについて学びましたが、取り組みの問題点についても考えることは重要です。授業で取り扱った内容を異なる角度から考えるきっかけになります。
- (6) 推薦者 : 吉田博 (徳島大学高等教育研究センター)

- (1) 【新】『新しい時代の教職入門 改訂版』 有斐閣
- (2) 関連する主題 : 主題B-3 情報とコミュニケーション
- (3) キーワード : 授業、カリキュラム、子ども、教師、協働、同僚性
- (4) 難易度 : 
- (5) 秋田氏、佐藤氏ら教育学を代表する学者らによって執筆された教職についての専門書です。教職の概要を理解することに向けた書籍です。

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】『新編 教えるということ』 筑摩書房
(2) 関連する主題 : 主題 B-3 情報とコミュニケーション
(3) キーワード : 教師, 子ども, 教える, 態度
(4) 難易度 : 
(5) 国語教育の第一人者である大村はま氏によって執筆された教師としての入門書です。
「教える」ということを考えるに向けた書籍です。

- (1) 【新】西久保靖彦(2021)『図解入門よくわかる最新半導体の基本と仕組み[第3版]』, 秀和システム
(2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
(3) キーワード : ものの科学, 半導体, レーザー, トランジスタ, LSI
(4) 難易度 : 
(5) 半導体の誕生からトランジスタの構造・仕組み、半導体を集積することでできる LSI。さらに、LED やダイオード、パワートランジスタなどの半導体製品の特長。そして、半導体を製造する半導体製造工程などを解説する入門書。
(6) 推薦者 : 鶴町徳昭 (創造工学部)

- (1) 【新】西原和久・杉本学編 (2021 年)『マイノリティ問題から考える社会学・入門 : 差別をこえるために』、有斐閣
(2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
(3) キーワード : マイノリティ問題、差別、近代化
(4) 難易度 : 
(5) マイノリティとは誰のこと? マイノリティ問題とはどのような問題? 本書はこのような疑問に対して、さまざまなマイノリティ問題を取り上げつつ、マイノリティと差別の問題を考えるための入門書です。
(6) 推薦者 : 小坂有資 (大学教育基盤センター)

- (1) 【新】戸田山和久 (2020 年)『教養の書』、筑摩書房
(2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
(3) キーワード : 教養教育
(4) 難易度 : 
(5) 著者は本書を「学び生きるうえで大切なすべてを伝える入門講座 (おせっきょう)」と説明します。教養とは何で、なぜ大切なかが、わかりやすい言葉で、かつ具体的な事例とともに提示されています。
(6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】林哲介 (2017年) 『教養教育の再生』、ナカニシヤ出版
- (2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
- (3) キーワード : 教養教育
- (4) 難易度 : 🌶️
- (5) 戦後日本の大学における教養教育の変容をふりかえりながら、欠落してきた視点を指摘し、あるべき姿を提言しています。150頁と少なく、1年生にも挑戦しやすい一冊ではないでしょうか。
- (6) 推薦者 : 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 【新】藤家洋一著 (2005年) 『原子力』 ERC 出版
- (2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
- (3) キーワード : 放射線 エネルギー 核分裂 核融合
- (4) 難易度 : 🌶️🌶️
- (5) 原子力について、事実を客観的に理解するためにやさしく書いてある。原子力に関連する問題に対して、サイエンスの立場からきちんとした意見を言うために、ぜひ勉強してほしい。
- (6) 推薦者 : 岡野 聡 (愛媛大学)

- (1) 【新】多田順一郎著 (2014年) 『《疑問が解ける》放射線・放射能の本』 オーム社
- (2) 関連する主題 : 主題 B-4 文化と科学・技術
- (3) キーワード : 放射能・放射線・生体・安全・原発
- (4) 難易度 : 🌶️
- (5) 放射線・放射能に対する疑問が解け、本質から理解できます。読みやすいので、入門書としてよいかと思えます。
- (6) 推薦者 : 岡野 聡 (愛媛大学)

- (1) 【新】岸 國平 (2002年) 『植物のパラサイトたち』 八坂書房
- (2) 関連する主題 : 主題 B-5 生命と環境
- (3) キーワード : 農業、植物病理学
- (4) 難易度 : 🌶️🌶️
- (5) 植物と植物病原体 (パラサイト) の攻防を作物ごとに丁寧に説明しており、世界の農業現場で安定的な作物生産を実現するためには植物病理学の発展が必要であることを教えてくれる植物病理学入門書

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 『生物多様性概論 ―自然のしくみと社会のとらえ―』朝倉書店 978-4254171648
(2) 関連する主題 : 主題 B-5 生命と環境
(3) キーワード : 生物多様性
(4) 難易度 : 
(5) 生物多様性とそれを取り巻く社会や環境の問題をわかりやすく解説している入門書。
(6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- (1) 『ネコ・かわいい殺し屋―生態系への影響を科学する』築地書館 978-4806715801
(2) 関連する主題 : 主題 B-5 生命と環境
(3) キーワード : 外来種
(4) 難易度 : 
(5) 講義内でも触れているノネコ問題は、世界共通の大きな問題であるが、何が問題なのか、どう解決させていくべきかが判る。感情論ではなく事実に基づいた良書。
(6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- (1) 『侵略! 外来いきもの図鑑 もてあそばれた者たちの逆襲』パルコ 978-4865062922
(2) 関連する主題 : 主題 B-5 生命と環境
(3) キーワード : 外来種
(4) 難易度 : 
(5) 子供向けの、漫画が主体の書籍であるが、現在市販されている外来生物の書籍の中で最も解りやすく最も網羅的なものである。外来生物の専門家が監修していることから、内容に間違いがなく最新の知見が含まれている。
(6) 推薦者 : 吉富博之 (愛媛大学ミュージアム)

- (1) 【新】『眠れなくなるほど面白い 図解 病理学の話: ヒトはなぜ病気になる?原因としくみを解明!』
(2) 関連する主題 : 主題 B-6 人間と健康
(3) キーワード : 病理学
(4) 難易度 : 
(5) 病理学とはやまいのことわりを解明する学問です。本書籍では、病気のしくみについて図で解説されています。
(6) 推薦者 : 松田陽子 (香川大学医学部腫瘍病理学)

- *各項目に含まれる内容 (1) 書籍情報 / (2) その本が関連する主題 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 1~3 (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属
- ※がついている本は絶版等のため配架されていません。ご注意ください。
 - 【新】がついている本は今年度新たに配架された本です。

- (1) 【新】『おしゃべりながんの図鑑 病理学から見たわかりやすいがんの話』
- (2) 関連する主題 : 主題 B-6 人間と健康
- (3) キーワード : 病理学
- (4) 難易度 : 
- (5) がんの病理学について、イラストをまじえて解説されています。がん細胞の性質やがん研究についての理解を深めることのできるお勧めの本です。
- (6) 推薦者 : 松田陽子 (香川大学医学部腫瘍病理学)

- (1) 【新】田村真 (著), ミルトン・メイヤロフ (著) 『ケアの本質—生きることの意味』
- (2) 関連する主題 : 主題 B-6 人間と健康
- (3) キーワード : 「ケア」「ケアリング」「生きる意味」
- (4) 難易度 : 
- (5) この本は人間はすべて「ケア」という共通の名前を持っているというローマ神話し由来し、人は存在するだけで人を癒す働きを持つことを気づかせてくれます。
- (6) 推薦者 : 清水裕子 (医学部看護学科)

- (1) 【新】長谷川和夫, 猪熊 律子 (著) 『ボクはやっと認知症のことがわかった 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言』
- (2) 関連する主題 : 主題 B-6 人間と健康
- (3) キーワード : 「ケア」「認知症」「当事者」
- (4) 難易度 : 
- (5) 認知症専門医として「長谷川式スケール」を開発した著者が、自ら認知症になった経験を日本人への遺言として遺した書籍。超高齢化社会において 6 人に 1 人が認知症と診断される時代、認知症とどのように向き合うか考える契機となります。
- (6) 推薦者 : 芳我ちより (医学部看護学科)

- (1) 【新】寺本 松野 (著), 臼井 患之輔画『患者さんの遺した言葉』
- (2) 関連する主題 : 主題 B-6 人間と健康
- (3) キーワード : 「ケア」「健康」
- (4) 難易度 : 
- (5) この本は日中戦争を従軍看護師として務め、その後カトリック修道女になって結核などの死にゆく患者の臨床看護から「死の看護」を著し、日本の死の臨床を牽引した寺本松野の絶筆である。茅ヶ崎在住の元美術教師・臼井患之輔氏の美しい装幀画が患者さんの遺した言葉の深淵を際立たせている。
- (6) 推薦者 : 清水裕子 (医学部看護学科)